

	給食の様子を見て	食育に関するディスカッション
3日目 (6/28) 3名	<ul style="list-style-type: none"> 話にはよく聞いていたけれど、初めて自分の目でランチルームの様子を見て「こんなこともできるんだなー」と感心することばかりでした。 毎日の積み重ねってすごいですね。 午前中の様子を見ていて、改めて子どもたちの活動量に感心しました。これだけ動けばおなかがすいてよく食べるわけだね。 お箸を上手に使っていました。 	<ul style="list-style-type: none"> 家でおかずを大皿に盛っていたのでアドバイスを受けて早速小さいお皿にかえてみましたが残していました。園では食べているのになあ。甘えもあるのかな。 うちは家族そろって本当によく食べるのですが、出されただけ食べてしまうので、初めからドンと出さずに量を調整するように心がけています。

e) 試食会の速報の作成

試食会での内容をまとめ、速報として、7月に各家庭に配りました。

(4) おやつ試食会

① ねらい

- ・ 保育園のおやつを子どもと一緒に食べながら、子どもの様子を観察したり、味わったりし、保育園の「食」について興味や関心をもってもらおう。
- ・ 食を通して、同じ年齢の子を持つ保護者同士の交流を深めたり、情報交換をするきっかけにする。

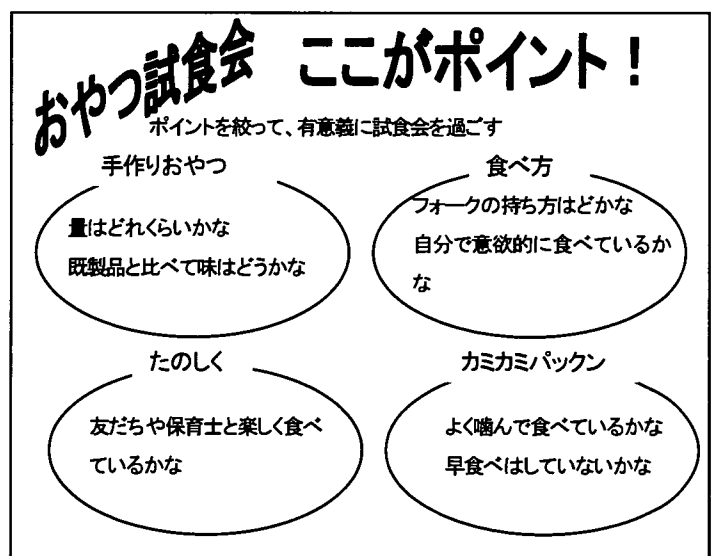
② 活動の実際

a) 期間と対象

- 平成20年1月22日(火)15:00～15:30 (5歳児の保護者)
- 平成20年1月23日(水)15:00～15:30 (4歳児の保護者)
- 平成20年1月24日(木)15:00～15:30 (3歳児の保護者)
- 平成20年1月29日(火)15:00～15:30 (2歳児の保護者)
- 平成20年1月30日(水)15:00～15:30 (0, 1歳児の保護者)

b) 内容

- ・ 人気メニュー、家庭でも簡単に作れるもの、保育園ならではのものから、クラスごとにメニューを決める。
- ・ あらかじめ、見て欲しいポイント用紙を配布し、子どもと一緒にたべてもらう。
- ・ 家庭でのおやつについて、どのようなものをあげているか、どのようにあげているかなど、保護者との会話から様子を聞く。(各クラスに質問事項をプリントしあらかじめ渡ししておく)
- ・ 感想や意見を書く紙を保護者に渡し、最後に書いてもらう。



c) 保護者の声

<p>5歳児 『ヨーグルト ケーキ』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 甘くなくさっぱりした味でおいしかったです。 ・ 素朴でやさしい味でした。 ・ 甘すぎず、もちもちとした感じでとてもおいしくいただきました。家でもぜひ作ってみたいと思いました。 ・ 私が小さい頃に食べていた懐かしの味です。甘さも控えめでおいしかったです。久しぶりに家でも作ってみようと思います。我が家ではレモン風味をプラスします。 ・ 甘さをおさえてあって、ヨーグルトもほんのり香る感じでおいしかったです。家でのおやつを反省します。
<p>4歳児 『なめごはん』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家ではなかなか「おやつにごはん」ということはないのですが、子どもたちのエネルギーから考えると、それもありがたかなと思いました。家ではついお菓子を食べてしまうので、たまにはご飯にしてみようかと思いました。 ・ 「おやつ」というとケーキやチョコレートというイメージがあり、甘いものばかり食べさせていましたが、夕食までの空腹を満たすものとして、今日のような炊き込みご飯でもいいなあと思ひ改善の余地あります。 ・ 初めて試食会に参加し、とてもよかったです。家でもなめごはんを作りたいと思いました。 ・ 苦手なきのこが入っていましたが、味付けがよかったようで完食できました。フォークの持ち方は癖がでていました。今後の課題にします。 ・ うちでは白いご飯がいいと言って釜飯や赤飯はあまり食べないのですが、おかわりをしていて驚きました。 ・ 温かいごはんをその場でよそってもらい食べられ、よりおいしかったと思います。クッキングと一緒に出来たらいいなあと思います。
<p>3歳児 『いもち』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食べやすくおいしかったです。軽食としても使えそうなので(簡単なら)作ってみたいです。 ・ 子ども達のいつもの様子が聞いたり見たりできて嬉しかったです。いもちは見た目より歯ごたえがあって、味もしっかりついているのにおいもの味もちゃんと楽しめておいしかったです。 ・ ジャガイモの味がしっかりきいていました。薄味でとてもおいしかったです。子どもは「おいしかった」「もっと食べたい」といっていましたが、おかわりは1回だけと言われました。家ではいくらでもあげてしまうので、きちんと量を決めてあげたほうが良いと思ひ直しました。 ・ 本当に子ども達一人一人の事をよく見ていてくれたり、すぐ考えてくれているのが伝わってきて頭の下がる思いでした。改めて親なのに私はどこまで考えて理解してあげられているのかな・と考えさせられる会でした。 ・ 家では手作りおやつはほとんど出来ないため、保育園で食べるおやつは楽しみなようです。優しい味のおやつでおいしかったです。
<p>2歳児 『高野豆腐のころろ揚げ』</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園のおやつはきなこを使ったものが多いですね。マカロニきなこもびっくりしましたが、高野豆腐まで・。意外においしかったです。 ・ 簡単に作れて子どももおもしろそうに食べていたので、是非おやつに作ってみたいと思いました。 ・ 高野豆腐でおやつは初めてでした。初めての食感を楽しめました。うちの子は、きなこがだめらしく少ししか食べませんでしたが家でもやってみたいと思いました。 ・ 高野豆腐を今までに食べたことがなかったのですが、きなこがつけてあって、とても食べやすくおいしかったです。 ・ 園での様子やみなさんの家での様子が聞けてよかったです。おやつと一緒に食べ

	れてよかったです。
1歳児 『りんごヨーグルト蒸しパン』	<ul style="list-style-type: none"> ・甘さが控えてあって、りんごの風味がよく味わえておいしかったです。お友達が食べる様子を見ながら楽しそうに完食していました。手作りのものは安心して食べることができていいですね。 ・市販品よりも甘さが控えめでやわらかくておいしくいただきました。子どもと一緒に食べられてよかったです。やっぱり手作りの方がおいしいですね。 ・蒸しパンとってもおいしかったです。ほんのり甘くてりんごが入っているのがまた良かったです。量はうちの子には少し足りないくらいだったみたいですが、このくらいなんだなあと参考になりました。 ・家よりもおいしいものをいつも食べているんだな〜と。とってもおいしかったです。 ・子どもが生まれてからご飯もおやつ(お菓子)も全体的に薄味になりました。

d) 試食会の速報の作成

試食会での内容をまとめ、速報として2月12日(火)に各家庭に配りました。

③ 給食試食会・おやつ試食会の活動を振り返って

試食会を通して、子どもたちの園での食事の様子を見てもらったり、子どもたちが食べているメニューを実際に食べてもらい、保育園の食について関心を持ってもらえたように思います。出席した保護者は昨年参加している方が多く、食に対して意識を高く持っている様子が伺えます。自分の子どもが集団の中で食事をしている姿を見て、昨年からの成長の姿を実感していました。

給食試食会では、今回は子どもの年齢ごとに設定するのではなく、異年齢の保護者とも話をしたり、アドバイスができるようにと、3日間の中から日にちを選べるようにしました。乳児クラスの保護者が今の悩みを話すと、幼児クラスの保護者から「私もそうだったのよ」と共感があったり、アドバイスがもらえたりと昨年とは違った姿が見られ、保護者からも「アドバイスがもらえてよかった」と感想がありました。一方で、酒井先生の講演会の日を除き、全体的な参加数が少なく感じられました。忙しく、時間がとれない方もいると思いますが、できるだけたくさんの方に意識を持ってもらい、参加してもらえるようにするにはどうしたらよいか、検討していく必要があると思います。

おやつ試食会は昨年同様クラスごとに行い、子どもと一緒に食べるよう計画しました。懇談会後ということもあり、どのクラスも参加者が多くいました。メニューを選ぶ際には、子どもの好きなメニューだけでなく、家庭でも作れたり参考になるようなものをということにもポイントをおいて各クラスごとに決めました。そのため、保護者からは様々な感想が聞かれました。反省点としては、園のねらいが保護者に伝わりにくく、『子どもと一緒におやつを食べる楽しい会』として参加希望をする保護者も数名いるので、試食会を行うねらいをきちんと伝えていく方法を今後も考えていきたいと思っています。

試食会終了後には、昨年同様に速報の食育だよりを配布したり、ハートの用紙(感想)をモグパクコーナーに掲示したりしたので、欠席だった保護者にも活動の内容を伝えることができました。ハートの用紙は視覚的にもカラフルで、子どもたちも「これなーに?」と興味を持っていたので、送迎の際に一緒に掲示を見て話題にしている親子が多く感じられました。今後も試食会のアンケートや記録をいかしながら、保護者との連携を深めていきたいと思っています。

(5) 講演会

① ねらい

- ・子ども達をとりまく現状を知り、子ども達に合った保育や対応を考えていく。
- ・食育に取り組むにあたり、意見交流などを通して連携をとったり、意識を深める。
- ・保護者や地域に向け、食育について発信していく。

② 日時と対象

第1回 平成19年 6月27日(水)12:00～13:00 保護者
第2回 平成19年11月17日(土)11:00～12:00 保護者、地域、保育士、調理員

● 講師

東京家政学院大学助教授 酒井治子氏

● 参加人数

第1回 保護者 16名 職員 4名
第2回 保護者 9名 地域 4名 職員 7名 他園職員 6名 計26名

● 第1回講演会

ねらい	<ul style="list-style-type: none">・ 食育の大切さについて、保護者に発信する。・ 食について意見交流をしたり、普段悩んでいることを共有し解決の糸口を見つける。
テーマ	「家庭の食事状況や公開保育でのお子さんの様子について」
内容	<p>①こどもの食べる様子を見ての感想</p> <p>②試食会を終えてみての感想</p> <p>③家庭の食事状況などで、普段悩んでいることを共有し、意見交換をする。</p> <ul style="list-style-type: none">・家では少し食べると立ち上がってしまいフラフラしてしまうんです。・下の子を見て「ほくもー」と赤ちゃん返りをして全く自分では食べなくなってしまって…・食べているときの姿勢が気になる・肉や魚をあまり食べてくれなくて… <p>(アドバイスの様子は試食会2日目参照)</p> <p>④まとめ</p> <p>「楽しく食べる」とは…</p> <ul style="list-style-type: none">・小さいうちは食べることを楽しみにできることが大切。・おなかのすいたという空腹感を味わう。・好きなもの・食べたいもの・一緒に食べたい人を見つけ、出会っていく時期。 <p>食事は、人の関わりであったり、いのちの営みを感じる場であったりと生きる力を育むこと。</p>
保護者の感想	<ul style="list-style-type: none">・ いろいろなクラスの保護者や保育士と一緒に参加でき、その年齢の子どもの食事の仕方を聞くことができ、とても参考になりました。・ 食事をする意味について深く考えることができました。単なる栄養補給だけでなく、パーソナリティや心の栄養補給にもつながる大変重要なことだと感じました。・ 今後もこのような会を続けてほしいです。・ 昨年は主人が参加しましたが、今年は参加できてよかった。子どもの様子や実際に食べているものを味わってみて、いつもとてもおいしいものを食べているんだと実感した。・ 酒井先生の話がおもしろかったです。・ 園での食育に対する取り組みが身をもって体験できたので参加してよかったです。・ 仕事をしながら時間のない毎日で、食事を作って食べさせることがつつい義務化していく中で、ふと立ち止まって食について考えるよい機会になりました。

保護者の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演会は講演というより和やかな話し合いでよかったです。子どもにとっての食事の理想的な姿がわかり、それらを意識して日々の食事にむかいたいと思います。 ・ 家では食事のときに大人がなかなかゆっくり座っていることがなかったので、これからはなるべく一緒に座って食事したいと思います。 ・ 『食べさせなくては』という気持ちが先立って環境づくりに気が回らなかったり、おなかも心も幸せという食卓になっていなかったといい気づきことができました。食事はコミュニケーションの場だし、家庭においてとても大切なことだと思います。自分自身も心に余裕を持って笑顔で食事できるように頑張っていきたいと思いました。
--------	---

● 第2回講演会

ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭での食について、保護者や地域に発信する。 ・ 食について意見交流をしたり、普段悩んでいることを共有し解決の糸口を見つける。
テーマ	<p>「家族のコミュニケーションは食事をおいしくします」 「食を通した子どもの成長について」</p>
内容	<ol style="list-style-type: none"> ① 4～5名ずつのグループに分かれて講習をすすめる。 ② 食事をする上で工夫していることや気をつけていること』を紙に1人5枚ずつ記入し、グループで発表しあい似たようなものに分類する。 ③ ループで代表を決めみんなに紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 箸や器を準備したり子どもが出来るお手伝いを任せている。 ・ 子どもと一緒に調理をしてみる。(ハンバーグ、皮むき、食材を持ってくるなど) ・ なるべく手づくりになっている。 ・ 栄養バランスに気をつける。 ・ なるべく家族一緒に食事をするようにしている。 ・ 食物アレルギーがあるが、みんなと同じ物を食べていると思えるように工夫している。 ・ 同じメニューでも切り方を変えたりして雰囲気を変えている。 ・ 時にはいつもと違う盛り付けにしてみる。 ・ 季節の食材を取り入れるようにしている。 ・ 家庭菜園をしている。 ・ 食わず嫌いは厳禁！一口は食べさせる。 ・ ファーストフードは避けて、外食も栄養バランスがよいところするようにしている。 ・ おなかのすいたと思えるよう、生活リズムを整えることも大切。 ・ 一口一口にありがたみと嬉しさと感動を感じてもらえたらいいなあ。 ④ 『地域の活動への要望(こんな活動があったらいいな)』を1人3～5枚ずつ紙に記入しグループで発表しあい、みんなに紹介する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 土曜日に親子でクッキングの会を開いてもらえたらいいなあ。 ・ 焼き芋、餅つきなど日本ならではのものができるといいなあ。 ・ 苦手なものを食べられるようなメニューのレシピを教えて欲しい。 ・ 保育園同士で給食のことなど情報交換がされているのかな。 ・ 父親への情報提供もして欲しい。

<p>保護者・地域の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 短い時間でしたが、みなさんの家庭の食事について話を聞くことが出来、勉強になりました。毎日の食事はとても大切で旬のものを食べたり、家庭菜園を作ってみて一緒に育て料理を作ってみたいと思いました。 ・ 家庭での工夫点がわかって、とてもよい機会になりました。なかなか園と家庭とで意見を出し合うことがないのでよかったです。 ・ 他の家庭でもいろいろ考えながら食卓を用意しているんだなと思い、また工夫を知ることが出来てよかったです。 ・ 普段話の出来ない他のお母さん達の話が聞けて参考になりました。今後もこうした企画を多くして欲しい。 ・ 見習いたい部分も多く、取り入れていきたい。楽しい会話、1日の出来事を話す機会にしていきたい。 ・ 食に関してはマイナスの悩みが多い(食わず嫌い、夫が食べない日がある、ファーストフード好き、偏食など)のですが、プラス面を出し合うこの会に出て、頑張っていこうと思う事が出来ました。せめて子ども達には、良い食習慣をつけてやりたいという思いを再確認できました。 ・ 在園児ではありませんが、今日の会に参加できて嬉しく思います。みなさんの話を聞けて、食に対する思いやお子さんに対する気づかいなどが聞けて、私自身がいかに手抜きしているかがはずかしく思い、反省すべき点が多かったです。またこんな会に参加したいと思います。
<p>保育士、調理員の感想</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭でもいろいろな工夫をしていることがわかり参考になりました。 ・ 保護者の食に対する意識が高く参考になりました。保護者への伝え方が課題となっているので、今回の話をふまえて何が出来るか検討していきたい。 ・ 我が子が小さかったときに、自分が食事に関してどんなことを考えていたのか思い出すことが出来た。 ・ 文京とも連携してもっともっと充実していけるといいですね。 ・ 大人が子どもの将来を考える時期にきていると感じる。食事食育について考える時間になった。 ・ 他の方が工夫されて食育に取り組んでいる事に刺激を受けました。我が家でも食育について考え実行していきたい。保育に関わるものとして、より学んでいこうと思った。

③ 講演会の速報作成

講演会での内容をまとめ、速報として各家庭に配布しました。

④ 評価・反省

保護者の感想にもありましたが、堅苦しいものでなく和やかな雰囲気で見聞交換ができたので、忙しい中でふと立ち止まって食について考えてみたり、食事の悩みや疑問などの情報交換ができる良い機会になったと思います。講演会の様子を速報で発行し、出席できなかった家庭にも配布しました。できるだけ多くの保護者に目をとめてもらえるようにレイアウトも工夫しました。今年は地域に向けての講演会も行うことができ、第2回では保育園児以外の家庭の参加もありました。地域の方からまた参加したいとの声もあり、講演会の必要性や成果を感じました。子育てをしている家庭が多い地域なので、地域に向けてのPRの仕方を工夫すると、参加数が増えるのではないかと思います。

3) 地域との連携

●生活技術指導士(農家)との交流

ねらい	<p>食べ物を生産している人に会い、生産している人がいることや調理前の野菜について知る。</p> <p>相模原市の農作物や旬の食べ物に興味・関心を持つ。</p> <p>興味・関心を持つことで意欲的に食べる。</p>
内容	<p>ふるさとの生活技術指導士から野菜を見せてもらい、話を聞いて実際に触れさせてもらう。</p> <p>その野菜で調理したものを一緒に食べる。(給食にて)</p> <p>保育園で栽培している農作物をみてもらい、栽培のアドバイスをもらう。</p> <p>子どもと一緒に収穫する。(3歳児)</p>
年齢	3、4、5歳児
連携のプロセス	昨年度と同様で保育課栄養士を通して企画
成果	<p>子どもの姿・育ち</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農家の方から直接話を聞けることが子どもにとって新鮮であり、興味を持って話を聞いていた。 ・野菜を実際に持ったり触れたりすることで新鮮な野菜の匂い、調理前の野菜の大きさ、重さを感じられて歓声が上がっていた。 ・土のついた収穫したばかりの野菜を持ってきてもらったため、野菜のどの部分までが土に埋まっているかを知ることができた。 ・大きな野菜ができるための土の感触も味わうことができた。 →野菜を作ってくれる人がいることを知り、野菜に対する関心もより深まった。 ・農家の方と一緒に給食を食べながら「これさっきのにんじんだよね」と会話を楽しんでいた。 →食事の時間に野菜を話題にすることで、食べる意欲が増し、野菜や食べ物を作ってくれた人への感謝の気持ちを持つことができた。
	<p>活動のありかた</p> <p>地域の人から話を聞くことで話す視点もかわり、農作物に対する子どもの興味や関心が広がった。</p> <p>自分たちの育てている農作物を一緒にみることで食物を育てることへの興味も広がった。</p>
課題	長期間での触れ合いがなかったため、保育園で農作物を育てる過程においてもアドバイスをいただきながら子どもたちと交流が持てるようにしていきたい。

●市食生活推進団体『わかかな会』との交流

ねらい	<p>地域の人と触れ合いながらクッキングをすることで地域の方に関心を持ち、関わりを広げる。</p> <p>自分たちの周りに多くの大人が関わっていることを知る。</p> <p>自分たちで栽培したものを調理し、食べることで食文化の過程を知る。</p> <p>様々な大人と自分たちで作る楽しさを共感し、親しみを持つ。</p>
内容	<p>5歳児(夏野菜カレー):</p> <p>わかかな会さんにカレーの下準備を手伝っていただき、子どもが野菜の皮むきをする際の補助をしてもらう。煮込んでいる時間に野菜の栄養について話をしてもらう。おしゃべりをしながら一緒に食べる。</p>

		3歳児(さつまいもチップ): 子どもたちの前でさつまいもを切り、さつまいもの断面の様子や色などを見せてもらう。ホットプレートで焼く際の補助をしてもらい一緒に食べる。食べながらお互いの普段の生活についておしゃべりし触れ合う。
	年齢	3、5歳児
	連携のプロセス	昨年度の「うどん作り」での交流を継続させたいとの思いで、保育園から直接連絡を取り計画した。
成果	子どもの姿・育ち	<ul style="list-style-type: none"> ・「どうやって皮むくの?」と子どもから直接質問する姿が見られた。 ・野菜についての話を真剣に聞いていた。(5歳児) ・さつまいもを切る様子を興味津々にみていた。(3歳児) ・子どもから積極的に話しかけていた。 →地域の方から話を聞いたり、触れ合ったりすることで自分たちの周りに色々な大人がいる事、教えてくれる人がいる事を知った。 交流に慣れてきたこともあり、地域の方に親しみを持って接することができた。 ・「いい匂いがする」とできあがりを楽しみにしていた。(5歳児) ・ホットプレートを覗き込んで焼きあがるのを待ち遠しくしていた。(3歳児) →自分たちで栽培したもの・調理したものを食べられる喜び、植物を育てることの大切さを感じる事ができた。
	活動のあり方	<p>クッキングを通して地域の方と関わることができた。</p> <p>地域の方と子どもたちが直接おしゃべりすることで、保育園での普段の生活の様子や好きな遊びなどが話題となり、地域の方に保育園での生活や年齢ごとの発達を知ってもらうことができた。</p>
	課題	農作物の成長具合によって収穫の日程がずれてしまい、予定通りにいかないこともあった。そのため、今後は細かく連絡を取り合いながら様々な状況の場合を考えて打ち合わせを進めるようにしていきたい。

●『おいしいあいネット』との交流

ねらい	<p>地域の人と触れ合いながらクッキングをすることで地域の方に関心を持ち、関わりを広げる。</p> <p>自分たちの周りに多くの大人が関わっていることを知る。</p> <p>様々な大人と自分たちで作る楽しさを共感し、親しみを持つ。</p>
内容	<p>地域の方とすいとん作りをし、作り方を知る。</p> <p>子どもが野菜を切る時、すいとんの粉を混ぜる時、鍋にすいとんを入れる時においしいあいネットさんに側についてもらい補助してもらう。(写真—①)</p> <p>味付けについてアドバイスをいただく。</p> <p>すいとんを煮込んでいる間におしゃべりやゲームをして触れ合う。(写真—②)</p> <p>給食で一緒にすいとんを食べる。</p>
年齢	4歳児
連携のプロセス	5歳児が春に地域の老人会を訪問した際に交流したおいしいあいネットさんと今後も交流を続けていきたいと思い、保育園から直接連絡を取り、保育課栄養士とも相談しながら計画を進めた。

成果	子どもの姿・育ち	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜を切る際「ネコの手にしてごらん」との呼びかけに子どもが「こう？」とやりとりをしていた。 →いつもと違う方に指導してもらうことで新鮮な気持ちでやり取りしていた。 ・「いい匂いだね」と積極的に会話していた。 ・「早くたべたい」と期待感を持って待っていた。 →料理ができあがるまでの匂い等を様々な大人と共有でき、食べる事への期待感が増した。 ・煮込んでいる間に簡単なテーブルゲームを楽しんでいた。 ・「まだ帰らないで」「また明日も来てね」と別れを惜しんでいた。 →地域の方を身近に感じながら、親や保育士とは違う人とのかわり方を知ることができた。
	活動のあり方	調理(味付け等)を子どもたちの前で行うことで地域の方に対する見方が変わり、親しみを持って接する事ができた。
課題		急遽交流を企画したが、多くの方に参加していただき、おもしろいネットの方もとても楽しんでいただけたため、クッキングだけでなく様々な場面での交流を今後も続けていきたい。



写真-① わかな会さんに補助してもらう様子

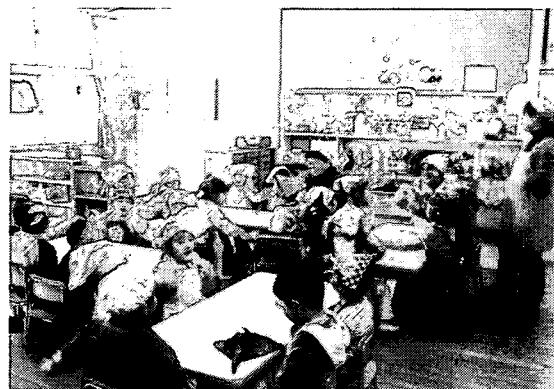


写真-②煮込んでいる間におしゃべりをして触れ合う様子

●評価・反省

食事という身近なテーマにおいて地域の方と触れ合うことができたことによって子どもたちにとっても印象的で新鮮な体験ができました。また、子どもたちにとってクッキングは特別な行事であり、そのクッキングを通して地域の方と交流を行うことで子どもたちの食事に対する興味・意欲がより増した機会となりました。

今年度は各クラスごとに地域の方と交流できる時間を設け、子どもたちも食べ物を栽培してくれる人、食事を作ってくれる人に対する興味・感謝の気持ち、また、自分たちで食事を作る際にアドバイスをくれる人の大切さ、見守ってもらっているとこの喜びを感じられたように思います。また、地域の方からも子どもたちと遊んだりお話ししたりすることで元気をもらえたという話をしていただき、今後も交流をしていきたいという話をいただきました。地域の方に保育園での生活や子どもたちの発達などを知ってもらうことで地域に密接した保育園により近づけるのではないかと考えています。

交流することによって子どもたちの中に様々な想いが生まれたことは良い機会となり、これからも様々な機会を通して交流を続けていきたいと思います。

4)子育て支援(地域の子育て家庭)にむけて

(1)地域子育て支援と食育に関する情報発信

① ねらい

親子遊びの提供や離乳食展示を行いながら、調理形態や子どもの発達を捉え、保育園が情報提供をし、地域の子育て支援へつなげる。

② 活動の実際

月日	地域の親子の動き	保育園からの支援
5月29日	<ul style="list-style-type: none"> 子どもセンターで行われる地域子育て支援講座「上矢部ベビー」で栄養士に聞いてみたいことを記入してもらう。 離乳食の形態やミルク等についての質問が多く、直接栄養士に答えてもらう。 スキンシップ遊び、感覚遊びを行い親子遊びを楽しむ。 	<ul style="list-style-type: none"> 上矢部ベビーの主旨説明をし、食育モデル園でもある保育園として、離乳期の子どもの食行動の発達の捉え方等について支援していきたいことを伝える。 保育課の栄養士をアドバイザーに迎え、食に関する悩みや意識調査をし、直接疑問に答える。 園の離乳食展示に誘う。
7月11日	<ul style="list-style-type: none"> 園行事「夏あそび」に参加した親子が離乳食展示を見学する。家庭での食事状況と照らし合わせて確認し、質問する。 園児各年齢の遊び、給食の姿や食器・食具を観察する。 	<ul style="list-style-type: none"> 給食調理員が調理形態や食材について実物を見ながら説明する。 園長・地域担当保育士がスプーン・食卓イス等の食環境構成やかかわり方について伝え、相談に応じる。 保育園の食育コーナーを見学してもらい、食育の取り組みを説明する。 食育に関する資料を提供する。
7月17日	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに自己紹介、家庭での食事状況について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションの場を設定する。
9月11日	<ul style="list-style-type: none"> 園児の離乳食状況報告を聞く。 個別に栄養士との栄養相談 	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流時にあった質問を全体に投げかけ、栄養士が答える。個別栄養相談を行う。
10月30日	<ul style="list-style-type: none"> 「上矢部ベビー」講座や家庭での食に関するアンケート記入する。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園主催の地域向け食育講演会に誘う。チラシ配布する。
11月17日	<ul style="list-style-type: none"> 酒井治子先生の「食育講演会」に参加し、家族との食事の楽しさ等を学ぶ。 	
1月29日	<ul style="list-style-type: none"> 保健師に子どもの発達や冬の健康について、話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> 食育に関する資料を提供する。

③ 評価・反省

地域の子育て支援の中で、1歳未満の低月齢の親子参加が多くなってきたので、今年度は地域の子育て支援講座「上矢部ベビー」の活動で親子で楽しく過ごし、同じ月齢の子どもをもつ親の情報交換や友だちづくりの場を提供するとともに離乳食等の相談を始めました。(写真①)また、毎月の園の地域活動「スマイル」講座時に、離乳食を展示し(写真②)、離乳期における子どもの食行動の発達の捉え方や、それに応じた調理形態、かかわり方、そして食卓イスやスプーンなどの環境構成についても、実物や写真を見せて、説明をしました。その中で食育の情報発信や保護者の悩みに答えてきました。また、市の栄養士や保健師もアドバイザーとして時折参加してもらい、保護者の質問に専門的に答えてもらいました。

母親の思いを受容する中で、食事が子育てと切り離して考えられないことを改めて感じました。遊びや食の話題を通して、同年代の保護者のコミュニケーションの場、同じ月齢・年齢の子どもの交流体験の場を提供することで、地域の育児力の向上に一役買っていることを実感しています。

地域に向けた支援を通して、保育園児の0歳児の保育内容や離乳食など園児一人ひとりの生活環境や遊び、かかわり方などを見直す機会にもなりました。そして、多職種の職員が話し合いの場を持ち、確認することで連携が図れ、より幅広い支援ができました。

今後は、保育園が食育の発信拠点としての役割を担っていけるように、継続して取り組み、保護者からの積極的なアプローチを期待したいと思います。

写真①



写真②



(2) 保育ウィーク

① ねらい

地域の子育て家庭に向けて、保育園の施設や保育、取り組みを紹介し、消防署との合同訓練や縁日ごっこの行事に参加してもらい、保育園を知る機会とする。

② 活動の実際

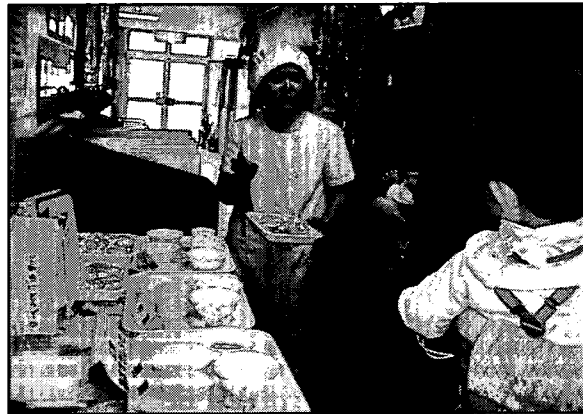
内容	方法
食育コーナーの紹介 [資料5-1]	<ul style="list-style-type: none"> 給食・おやつレシピの提供 保育園の献立(離乳食・普通食)の紹介 離乳食のワンポイントアドバイス 食育の様々な取り組みの紹介(ホームページ・食育モニター・〇〇家の食卓等)
保育園児の給食場面の見学	<ul style="list-style-type: none"> 説明をしながら保育園児の姿、給食の場面を見学してもらう
作品展 [資料5-2]	<ul style="list-style-type: none"> 「秋の自然」をテーマにした年齢ごとの作品の展示
消防署との合同訓練	<ul style="list-style-type: none"> 消防自動車の見学 消火器の取り扱い訓練 煙体験 映画上映
よちよちランド	<ul style="list-style-type: none"> 2階のテラスで、赤ちゃんサーキットで遊ぶ。
縁日ごっこ	<ul style="list-style-type: none"> ボーリング・くじびき・的当て・魚つりなどのゲームコーナーの中で保育園児とのやりとりを楽しむ
上矢部公園にみんなあつまれ	<ul style="list-style-type: none"> 体操・ペープサート・ダンボールシアターのおたのしみを地域の方と交流します ドリーム保育園と合同企画

おたのしみランド	<ul style="list-style-type: none"> ・ パネルシアター・手品・手遊びを楽しむ ・ 親子スキンシップ遊びの紹介
育児相談	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育ての悩みなどの相談

③ 評価・反省

保育ウィークは年間行事予定の中に位置付けてあり[資料2-①参照]、地域の子育て家庭に向けて、保育園を知ってもらう機会として一週間実施しました。今年度は、昨年度からの継続で、モデル園としての食育の取り組みを日々伝えることができました。中でも低月齢を対象としたよちよちランドは、あいにくの雨天でしたが、問い合わせも多く、毎日の離乳食展示や食育コーナーで食に関する情報を得ようとする姿が見られました。同じ年齢の子どもの給食場面を通して、子どもの姿や食育の取り組みを見学、説明を聞くことで、家庭の食事を振り返り、我が子の姿と照らし合わせて今の子育てや食事のあり方など、相談してくる方が多かったです。

資料5-1
食育コーナー
“地域の母親達が見
ているところ”



資料5-2 作品展

0歳児



1歳児



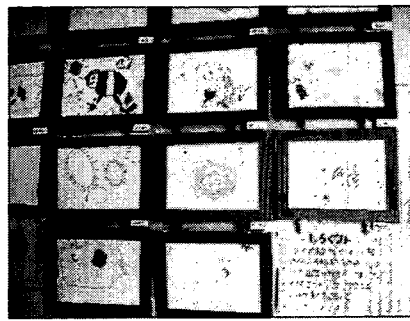
2歳児



3歳児



4歳児



5歳児



5)アンケート調査

(1) 目的：保育所で実践している食育の内容についてのご意見、感想、要望を把握する。

(2) アンケート集計結果

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
在籍	28名	20名	28名	28名	28名	132名
回収	23名	15名	20名	23名	17名	98名
回収率	82.1%	75.0%	71.4%	82.1%	60.7%	74.2%

名(%)

1-1. 食育コーナー(モグパコーナー)を見に行ったことがありますか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
① ある	21(91.3)	14(93.3)	18(90.0)	20(87.0)	16(94.1)
② ない	2(8.7)	1(6.7)	2(10.0)	3(13.0)	1(5.9)

名(%)

1-2. 「ある」と答えた方のみに質問

どんなきっかけで見にいきますか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
① ホワイトボードを見て	3(13.0)	1(6.7)	3(15.0)	1(4.3)	0
② 子どもに誘われて	1(4.3)	5(33.3)	8(40.0)	6(26.1)	3(17.6)
③ 通るときに目をひかれて	12(52.2)	9(60.0)	5(25.0)	12(52.2)	10(58.8)
④ 興味があるので定期的に見にいっている	5(21.7)	1(6.7)	6(30.0)	2(8.7)	3(17.6)
⑤ その他	1(4.3)	0	1(5.0)	0	2(11.8)

「その他」…写真を注文する際

貸し出しの本を借りるとき

名(%)

1-3. どの情報を見たことがありますか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
① 季節を食べよう	12(52.2)	5(33.3)	9(45.0)	11(47.8)	7(41.1)
② おすすめレシピ(職員)	14(60.9)	10(66.7)	16(80.0)	15(65.2)	14(82.4)
③ モグパレシピ(給食)	11(47.8)	10(66.7)	16(80.0)	14(60.9)	13(76.5)
④ 楽しくおいしく離乳食	2(8.7)	3(20.0)	4(20.0)	2(8.7)	2(11.8)
⑤ 給食 Q&A	4(17.4)	4(26.7)	5(25.0)	6(26.1)	3(17.6)
⑥ おせち料理・七草がゆ	6(26.1)	4(26.7)	12(60.0)	3(13.0)	9(52.9)
⑦ ○○家の食卓	18(78.3)	11(73.3)	17(85.0)	12(52.2)	11(64.7)
⑧ ホームページの掲示	2(8.7)	3(20.0)	9(45.0)	2(8.7)	5(29.4)
⑨ 主食提供後のランチの様子	5(21.7)	1(6.7)	9(45.0)	4(17.4)	2(11.8)
⑩ 節分・変身だいずくん	7(30.4)	3(20.0)	15(75.0)	7(30.4)	5(29.4)
⑪ 季節のくだもの	1(4.3)	0	2(10.0)	0	1(5.9)

名(%)

1-4. もぐぱくコーナーで見た情報や食事の事、給食のことを家庭で話題にしたことがありますか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
① ある	10(43.5)	9(60.0)	11(55.0)	8(34.8)	11(64.7)
② ない	11(47.8)	6(40.0)	9(45.0)	15(65.2)	5(29.4)

「ある」…どんな内容ですか？ 名(%)

- ・給食でどんなものを食べたか
- ・食事について夫婦間で話している
- ・食べ物に関する掲示ではじめて知ったこと
- ・モニターの他の家庭の取り組み
- ・育てている野菜や季節の野菜など
- ・季節の食べ物の意味
- ・ホームページの内容

2. サンプルケースはどのくらいの頻度で見に行っていますか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
① 毎日	5(21.7)	2(13.3)	7(35.0)	5(21.7)	2(11.8)
②子どもが声をかけたときだけ	5(21.7)	6(40.0)	7(35.0)	10(43.5)	10(58.8)
③興味のあるメニューだったとき	11(47.8)	5(33.3)	6(30.0)	7(30.4)	3(17.6)

「その他」…行ったことがない 名(%)

- ・時間が取れたとき
- ・貸し出しの本を借りるとき

3. サンプルケースはどのような点を気にしていますか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
①見た目、味付け	11(47.8)	4(26.7)	10(50.0)	7(30.4)	8(47.1)
②量	13(56.5)	8(53.3)	7(35.0)	8(34.8)	6(35.3)
③その日に食べたものを見て子どもと会話するため	8(34.8)	6(40.0)	16(80.0)	15(65.2)	10(58.8)
④家庭での料理のヒント	9(39.1)	5(33.3)	4(20.0)	9(39.1)	5(29.4)
⑤その他	3(13.0)	2(13.3)	0	1(4.3)	0

「その他」の内容 名(%)

- ・メニューや味付けが夕食のメニューと重ならないように
- ・子どもがどんなメニューをたべているか参考にするため
- ・切り方、野菜の大きさ、量の参考になる

4. レシピについて(当てはまるものすべてに○)

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
①持ち帰ったことがある	16(69.6)	11(73.3)	16(80.0)	17(73.9)	14(82.4)
②持ち帰ったことがない	6(26.1)	3(20.0)	3(15.0)	6(26.1)	3(17.6)
③リクエストしたことがある	0	1(6.7)	0	1(4.3)	0

④作ったことがある (親が)	9(39.1)	10(66.7)	6(30.0)	10(43.5)	4(23.5)
⑤作ったことがある (子供と一緒に)	0	1(6.7)	2(13.3)	3(13.0)	3(17.6)

名(%)

5. 食に対してお子さんや保護者の方の中で変化がありましたか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
① ある	16(69.6)	9(60.0)	14(70.0)	11(47.8)	12(70.6)
② ない	7(30.4)	6(40.0)	6(30.0)	12(52.2)	5(29.4)

「ある」…どんなことですか？

名(%)

- ・食器をランチ皿から、一品ごとの小鉢、茶碗に変えた
- ・子どもに食べさせるもののレパートリーが増えた
- ・バランスよくを心掛け、子どもが興味を引くような盛り付けをするようにした(季節の野菜を取り入れる等)
- ・子どものやりたい気持ちに付き合うようにした
- ・すべてが食から始まっていることがわかった
- ・薄味、色どりを気をつけるようになった子
- ・子どもが食材に興味を持つようになった
- ・一緒に調理をするようになった
- ・食材の購入から調理までを一緒にすることで食物に対するの興味がかわってきた
- ・野菜を家で作りはじめた
- ・展示物について話すようになるなど会話が增えた
- ・食の大切さ、食を通しての教育について考えるようになった
- ・食育紙芝居を通して、体についての知識をもった
- ・食べられる量を盛り付け、食べられた満足感をえられるようにした

6. 今後、食育コーナーで取り上げて欲しいことはありますか？

- ・生きた教材の話を子どもたちに伝えてもらいたい
- ・短時間で出来る料理、簡単な朝食、冷凍しておく便利なメニュー
- ・給食の調理の様子
- ・子どもたちの苦手なメニュー(苦手な食材の調理方法)
- ・年齢に合ったお手伝いのしやすい環境づくりの工夫について
- ・栄養面のこと(風邪をひいたときに取り入れるといい食材)
- ・ご飯の時間を楽しくするアイデア

7. ホームページを開いて見たことがありますか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
① はい	6(26.1)	5(33.3)	7(35.0)	17(73.9)	6(35.3)
② いいえ	17(73.9)	10(66.7)	13(65.0)	6(26.1)	11(64.7)

名(%)

8. 食育だよりの内容はいかがでしたか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
①わかりやすい	21(91.3)	13(86.7)	19(95.0)	20(87.0)	15(88.2)
②わかりにくい	0	0	1(5.0)	1(4.3)	0
③その他	2(8.7)	2(13.3)	0	2(8.7)	2(11.8)

名(%)

9. 食育だよりに載せてほしい内容はありますか？

- ・おいしくできるコツ
- ・食の安全についてどんなことを気をつけているか(食材の選び方など)
- ・子どもたちの食べている状況
- ・食育モデル園になったことで、子どもたちが保育園生活で変わったこと
- ・食べている時間・集中できる時間
- ・乳幼児に必要なカロリー
- ・子どもに人気の給食・おやつレシピ

10. 試食会で食べてみたいメニュー

給食	・離乳食 ・キッシュ ・おからコロッケ ・うどん	・ムーシーロー ・チリコンカン ・ポークチャップ ・クラムチャウダー	・魚料理 ・豆腐の揚げ団子 ・シュウマイ ・酢豚	・カレー ・豆腐の揚げ団子 ・ハンバーグ	・誕生食 ・千草和え ・豆腐のハンバーグ ・グラタン	・パンサンスー ・松風焼き ・ハンバーグ
おやつ	・きなこパン ・ミルクティーのケーキ ・チーズスティックパイ ・焼きそば	・ミルクもち ・ヨーグルトケーキ ・マカロニきなこ ・ブラウニー	・大根の炊き込みご飯 ・カルテツゴブレット	・簡単くずもち ・野菜スティック ・さつまいものキャラメル風	・蒸しパン ・お団子	

11. 保育園で体験したクッキングの様子がご家庭で聞かれましたか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
① はい	0	12(80.0)	16(80.0)	18(78.3)	13(76.5)
② いいえ	23(100)	3(20.0)	4(20.0)	5(21.7)	4(23.5)

「はい」…どのような話題ですか？ 名(%)

- ・野菜を切ったことをうれしそうに話していた
- ・どんなことをやったのか詳細に話してくれた
- ・園でつくったものを家庭でも作りたい
- ・自分でホットケーキをひっくり返したこと
- ・楽しかったこと、おいしかったこと
- ・包丁の使い方

12. ご家庭でもクッキングの機会が増えましたか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
① はい	1(4.3)	10(66.7)	11(55.0)	15(65.2)	9(52.9)
② いいえ	22(95.7)	5(33.3)	9(45.0)	8(34.8)	8(47.1)

「はい」…どんなメニューですか？ 名(%)

- ・ホットケーキ
- ・ピザ
- ・たこ焼き
- ・ハンバーグ
- ・肉詰めピーマン
- ・サンドイッチ
- ・食事の下準備…皮むき、パン粉つけ、野菜切り、つぶしたりまぜたりする作業

13. クッキングを一緒に行っている地域ボランティアの名前をお子さんから聞いたことがありますか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
① はい	0	0	0	2(8.7)	9(52.9)
② いいえ	23(100)	23(100)	23(100)	21(91.3)	8(47.1)

名(%)

14. 生活技術指導士さんが10月31日に地場野菜を持ってきてくれました。その際に園庭や廊下に展示した野菜をお子さんと一緒に見たり聞いたりしましたか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
① はい	10(17.4)	12(80.0)	11(55.0)	12(52.2)	12(70.6)
② いいえ	13(56.5)	3(20.0)	9(45.0)	11(47.8)	5(29.4)

名(%)

15-1. 食育モニターを見て、家庭でのお手伝いに影響がありましたか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
① はい	4(17.4)	8(53.3)	13(65.0)	14(60.9)	9(52.9)
② いいえ	19(82.6)	7(46.7)	7(35.0)	9(39.1)	8(47.1)

名(%)

15-2. 「はい」…どんな影響がありましたか？

	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児
①食事に興味を持つようになった	0	2(13.3)	2(10.0)	0	1(5.9)
②自ら食べようとする意欲が強くなった	1(4.3)	0	2(10.0)	0	4(23.6)
③お手伝い(準備・片付け)をするようになった	3(13.0)	6(40.0)	11(55.0)	9(39.1)	8(47.1)
④食事の調理にかかわろうとするようになった	1(4.3)	4(26.7)	11(55.0)	11(47.8)	8(47.1)
⑤その他	1(4.3)	0	2(10.0)	0	1(5.9)

名(%)

「その他」…とても興味を持って友達の写真を見ている
野菜の名前を聞いてくるようになった

16. 今後の取り組み全般について希望がありましたらご記入ください。

- ・色々な展示や行事をこのまま続けて欲しい
- ・クッキングの様子を直接見てみたい
- ・園の取り組みに触発されて家庭での食事を考える人が増え、続いてほしい
- ・活気的な取り組みでたのしんでいる
- ・「やってみる」「やってみたい」という言葉が増えた
- ・食べることが本当に楽しそうでとてもよい
- ・さらに子どもが食にふれられる機会を増やしてほしい
- ・食育の紙芝居、絵本が充実していて、野菜の働きなど家庭でも子どもと話す機が増えた

(3) 考察

掲示物については、乳幼児ともに送迎の際に目を引かれて見ているケースが多かったです。また、興味があるので定期的に見に行っている保護者も多く、意識が高いことが伺えました。幼児クラスになると、子どもが保護者を誘って見に行くケースが増えていました。季節を食べよう・レシピ・〇〇家の食卓は乳幼児とも関心が高く、子どもが触れるなどの工夫のある掲示や子どもの写真が載っているものは興味があってよく見えていました。レシピは持ち帰った保護者も多く、年齢が高くなるほど子どもと一緒に作っているケースが多かったようです。

ホームページは見えていない保護者が多く、園で内容を掲示することが必要と感じました。また、食育だよりの内容として今年度の形式でわかりやすいようでしたが、子どもの姿についての内容を含めたおたよりの構成を保護者は求めている今後内容を深めていきたいと思えます。

クッキングは年齢が小さいなりに楽しかった様子やおいしかったことを家庭で伝え、また年齢が高くなるほど作りたいたいという意識に変わってきていました。地域ボランティアについては関わりのあった年長・年中が中心で他

の保護者に対してのアピールの必要性を感じました。

乳幼児とも様々な活動を通して、食に関する意識が高まり、年齢ごとにできることでの食の変化が見られていることが伺えます。今後食育だよりを通して、モデル園になったことでの子どもたちの成長を伝え、食育の取り組みを継続していくことが大切なことだと感じています。

4 まとめ

平成17年度に職員一人ひとりが食育とはなんだろうという思いからそれぞれが自分の意見を出し合い、食を考えるとこんなに幅の広いものかと驚き、同時に保育園での食育を考えてきました。職員の異動により子どもへの関わりが元に戻ってしまったことを反省し、職員が変わっても子どもの関わりは変えずに育てていきたいという考えをもとに、食育計画を入れた上矢部保育園保育計画に至ったと思います。上矢部保育園に入園したら各年齢でこういう保育をしていくという考えのもと、全職員で何度も話し合いを行い、子どもの成長が年齢ごとにつながっていくように作りました。

今年度の食育実行委員は各クラスから1名が出て、毎月の話し合いの中で、各担当やクラスの調整をして進めてきました。上矢部の取り組みも昨年より増し、どの取り組みも保護者との連携や各家庭への発信を充実させるという目的で進んできました。また食育コーナーは大人向きの掲示が多かったことを反省し、子どもたちが掲示に触れ遊びながら食が学べるものを取り入れ、保護者と一緒に見ることができるものにしてきました。食育モニターも昨年より内容の幅が増え、「これならうちでもできる」という思いが広がり、たくさんの家庭の様子を紹介することができ、職員も勉強になりました。

園外への発信ということで、雑誌への掲載、他市より見学来園や研修会の発表でも園の取り組みを発表できる場をいただき取り組みを再認識できました。今年度はホームページでの紹介を充実しようと取り組んできましたが、まだ未熟な点があり20年度に持ち越し取り組みたいと思います。食育を通して「食が子どもの生きる力を培う営み」であることを再確認し、今後も地域の食を考える団体との関わりを密にし、さらなる取り組みを考えていきたいと思えます。

Ⅲ. 川崎市上作延保育園

1. 保育所の保育目標

<方針と特色>

都心へ電車一本で通える利便性の良さから、延長保育を利用する家庭が多く、保育園は、一日の大半を過ごすところとなっています。そのため子ども一人ひとりが安心して保育園生活や遊びが楽しめるよう環境づくりに努め、保育者との安定した関係を基盤として、毎日の中で繰り返される生活、日常の積み重ねの中で展開される保育を大切にしています。

3年間の食育モデル園としての実践を通して、身体を動かして遊び、実体験を豊かにすること。素材に触れたり、本物を実感するなど、五感を使って「感じること」の大切さを保育のポイントに置き、そこから広がる保育を意識してきました。

当園は、川崎の中では広い園庭があることから、栽培に取り組んだり、実のなる木が沢山植えられている自然環境を最大限に活用した保育を展開し、「おいしく食べる」の目標に向かい様々な活動を取り入れています。

<園目標>

「健康で明るく元気に遊べる子ども」

- ・ 健康で明るい子ども
- ・ 素直に自分の気持ちを表現できる子ども
- ・ 何にでも興味を示し意欲的に取り組める子ども
- ・ 自分で考え行動できる子ども
- ・ 優しい心を持ち思いやりを持てる子ども

『保育のポイント』

- ・ 身体を動かして遊ぶ保育(裸足保育・歩くことを多く取り入れていく)
- ・ おいしく食べる事を大切に、食体験を広げていく保育

[資料1-1, 2 保育計画]

2. 保育所における食育の計画づくりの方針

1) 食育の位置づけ

昨年度取り組んできたことの見直しを全職員で行いその中で確認された事を、今年度の方向付けにつなげました。

栽培物と調理保育を中心に行ったことでは

- 栽培物を育て、育つ喜びを子どもとともに実感した。調理保育へつなげる楽しみがあった。
- 栽培物等は今までクラスまかせで、他クラスの状況などあまり把握する事がなかったが、計画・結果等を職員全体で共有できた。

また食育に取り組んだことにより、

- 食事は生活の基本。生活そのものがしっかりしていなければと思えるようになった。
- 職員の連携の大切さを感じた。
- 今までの保育のあり方を考えるきっかけとなった。

集団での食事はどんな風な事が望ましいのか。ともすると子どもより大人の動きやすいようになりがちだった食事風景は、子どもにとって望ましくはないのではないかと。

子どもをひとりの人格者として捉えると見えてくるものが多くあり、それを基にして職員の動きを考えたり、環境を整えたりしていくことが大切であると再認識した。

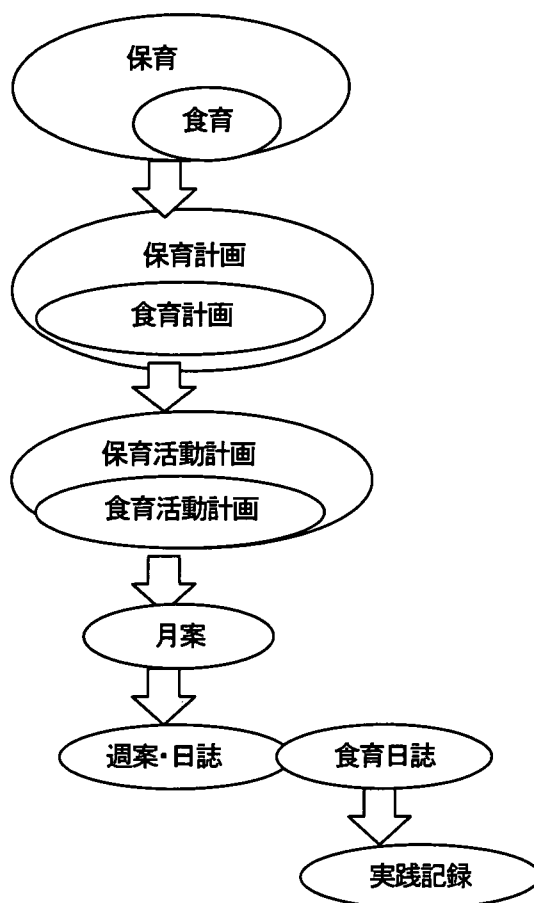
今年度に向けて食育目標の再確認をし、目標はそのまま継続する事を確認し、栽培物を育て調理保育へ繋げていくこと、そして保護者へのアピール、保護者を巻き込んでいける内容にしていこうと進めていくことになりました。

- 健康な身体をつくる
健康が大切である。遊びを通して健康な身体づくりをしていく。
- お腹がすくりズムがもてる
生活リズムはどうだろう。家庭も巻き込み生活リズムを整えていく。
お腹がすいたときに食事になるようなリズムをつくる。
- 基本的な食習慣を身につける
スプーンやフォーク、箸の持ち方や食事マナーを伝え、身につけることが必要。
- 感謝の気持ちが持てる
作った人や食べものに対しても感謝の気持ちが持てるような子に育てたい。

年度はじめに意識しやすいように食育を特化した指導計画・活動計画はこれでのよいのか。実践しながら元に戻していくのが保育の中の位置づけとして自然な形なのでは、ということ全体を確認し、そこでもう一度指導計画・年間計画の見直しを行ってきました。モデル園として発信できる計画書になるよう何度も作り直しをしました。

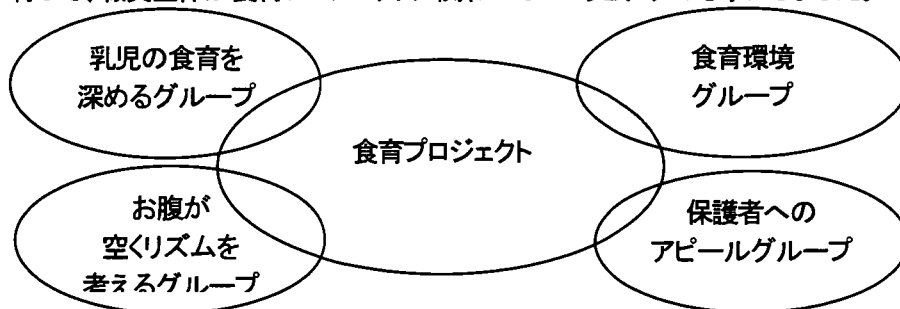
〔資料2-1~4 食育計画(乳児)〕

〔資料2-5 食育計画(幼児)〕



2) 職員間の連携体制づくりの工夫

昨年度は食育プロジェクトが中心の体制作りでしたが、今年は全職員が入る園内研修のグループ活動を中心に行って、職員全体が食育プロジェクトに関わっていかうとすすめる事にしました。



<全職員で取り組んだ食育日記の実施>

食育ホームページには、毎月発行される園だより・給食だより・保健だよりの他、栄養士による栄養指導の様子や行事の時の会食風景などを載せてきました。また今年度は、食育ホームページに力を入れようということで、新たに「食育日記」というものを追加しました。

食育日記は5月からスタートし、各クラス2ヶ月ずつを担当しました。その担当月の子どもたちのかわいらしい表情・つぶやきや食事の様子、担任の思いを載せていきました。

保護者にどうやってこの食育ホームページの存在を知らせていくかという点では、

- 各クラスのクラスだよりに URL や検索ワードを載せた。
- 各クラスの食育日記が更新される時にクラスの掲示板に貼りだした。
- 玄関の掲示板にその月の食育日記を貼り、更新のお知らせをした。
- 玄関の掲示板に URL や検索ワードの書かれた紙片を設置した。

食育日記を実施したことで、日頃の食育に対する職員全体の意識が高まりました。

保護者の反応も良く、親子の会話のきっかけになったり、家庭での食への関心が高まった様子でした。来年度以降も継続を求める保護者の声も聞かれ、続けていく方向で検討中です。